Scene

CPM

拔 周 を把握する会話例 対する

基本フレーズ フレーズ No. 今まで、歯ぐきが気になったことはあ 016 りますか? 歯周病って聞いたことありますか? 歯周病ってどんな病気かご存知です 018 どんな症状が出ると思いますか?

▶ 会話イメージ ◀ 今まで歯ぐきが気になったことはありますか? いや、特に……。 (歯肉ブヨブヨだけど、気にならないのか……) 歯周病って聞いたことはありますか? なんとなく、名前くらいは。 今回の検査の結果、○○さんはその歯周病になっ ています。

歯周病に関心 を持 ってもらお

歯周病については、発症する前に関心と知識を持ち、予防していくことの大切さを患者 さんに知ってもらうことが重要です。明らかに健康な患者さんにも、フレーズ 016 を質 問し、会話のきっかけにしましょう。

患者さんからは、「特に気になったことはない」といった回答もあれば、「たまに出血す る」などいろいろな回答が出てくることでしょう。患者さんから「気になる」といった回 答があったら、「どこが気になりますか?」「いつごろからですか?」など話を広げてみま しょう。この問いかけに対し、患者さんから「ここが気になる」と具体的な説明があった 場合は、以降の歯周病の説明やブラッシング指導などはその部位を例にするとよいでしょ

一方、歯周病が進行し自覚症状が出ていそうな状態にもかかわらず、フレーズ 016 に 対し「特に気になったことはない」と患者さんが回答した場合は、口腔への関心が低いこ とが考えられます。実際、「痛くて噛めない」や「歯磨きすると出血する」、「歯がグラグ ラする | のような症状がないかぎり、まじまじと歯肉を見る患者さんはあまりいないでし ょう。「気にならない=生活に不自由がない」ことは患者さんにとって幸せなことかもし れませんが、自覚症状のないまま進行してしまう歯周病に関しては大問題です。フレーズ 017 に対し「知らない」と回答した患者さんには、それ以上の質問はやめて、歯周病の 病態について説明しましょう。

CM や健康情報番組などを通じて、患者さんは歯周病に関する知識をそれなりに持って います。フレーズ 017 ~ 019 は、患者さんにとっては簡単な質問のようです。最初は このような簡単な質問から始めて、患者さんの知識を確認しましょう。

フレーズ 017 ~ 019 に対し、多くの患者さんが「歯ぐきが下がる」「歯がグラグラす る」「歯が抜ける」など具体的に答えてくれるでしょう。「そうですね、よくご存知です ね」と受け入れ、患者さんの回答について、正しい知識なのか誤った知識なのか把握しま しょう。以降の歯周病の説明時に、「さきほど○○さんがおっしゃったように」「○○さん がおっしゃったことですが、本当は……」のように患者さんの回答を引用することで、患 者さんの理解はより深まります。

